府立緑風冠高等学校
校長　富田　公一

平成 31 年度　学校経営計画及び学校評価

1　めざす学校像

教育目標

新しい時代を担う英知と、豊かな人間性・創造性・社会性を身につけた人材の育成

教育方針

１．将来を支える学習指導の充実
２．魅力ある学校生活の創造
３．将来を支えるきめ細やかな生徒指導
４．人権感覚豊かな人格の育成
５．地域に愛される学校

育みたい力

１．社会の一員である意識を高く持ち、社会に主体的かつ積極的に参加し貢献する力
２．柔軟な発想で、新たな課題に意欲的に取り組む力
３．自らの考えを的確に伝えるとともに、他者や異文化を理解し、相互理解に結び付けるコミュニケーション力
４．将来に夢と希望を持ち、実現までのキャリアビジョンを自ら設定する力

2　中期的目標

１　学力・夢を実現する力の育成

（１）組織的な授業改善の推進
（２）キャリア教育の推進
（３）講習・補習・外部模試の計画的な実施
（４）就職希望者への支援

２　保護者･地域から信頼される安全で安心な学校づくり（面倒見のいい学校）

（１）生徒の規範意識の醸成
（２）安心できる人間関係の構築
（３）行事、生徒会活動、部活動等における
　　生徒の自己有用感の醸成、学校への帰属意識
（４）保護者及び地域との連携

３　ともに学び、ともに育つ教育の実践

（１）障がいのある生徒の自立を支援

４　学校力の向上

（１）学校経営計画推進に向けＰＤＣＡサイクル推進
（２）各組織のリーダーのマネジメント能力の向上
（３）教職員研修の充実を図り教師力の向上
（４）学校の広報と情報発信の充実

緑風冠高校の３年後

①「主体的、対話的で深い学び」を取り入れた授業　全教員で実施
②ＩＣＴを活用した授業　全教員で実施
③学力向上満足度　５７％⇒７５％
④進路や生き方に関する機会の提供の肯定
　７２％⇒８０％
⑤授業アンケート（生徒意識）３．０⇒３．１
⑥関関同立産近甲龍外国語大学合格者　４人⇒３０人
　看護系大学・短大の看護学科、看護専門学校合格者
　１７人⇒３０人
⑦就職内定率　１００％維持
⑧生徒の学校規律の肯定　８７％⇒９０％
⑨生徒遅刻数１５００件以下
⑩保護者の生徒指導満足度　６８％⇒７５％
⑪友人に関する肯定　８１％⇒８５％
⑫生徒のクラス活動学校行事の参加に関する肯定
　７８％⇒８５％
⑬保護者学校との相談満足度７１％⇒７５％
⑭共生推進教室入学希望者数の確保
⑮保護者学校の満足度８２％⇒９０％
⑯教職員の教育活動の評価と次年度への計画に関する肯定
　５０％⇒６０％
⑰教職員の組織の連携に関する肯定度４５％⇒６０％

（平成 30 年度実績⇒2021 年）
③④⑧⑩⑪⑫⑬⑮⑯⑰は学校教育自己診断
⑤は、授業アンケート
⑥は平成 29 年度実績による

府立緑風冠高等学校

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析［平成 31 年　　月実施分］	学校運営協議会からの意見

3　本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1　学力・夢を実現する力の育成	（1） 「主体的、対話的で深い学び」をめざした授業改善 （2） キャリア教育の推進 （3） 普通科専門コース等の充実	（1） 首席、教務部担当、教科代表による「授業力向上委員会」を置き、授業力向上について検討するとともに年２回生徒授業アンケート等を実施し、授業改善を推進 （2） 「ホームルーム」、「総合的な学習の時間」において進路や生き方について考える機会を推進 （3） 専門コースのみならず総合系も含め授業内容の充実 進路指導部を中心に講習・補習・模試の計画を立案、実施 英検受験を推奨し英語教育の推進を図る（人文・英語発展専門コースは全員受験）	（1） 「主体的、対話的で深い学び」やＩＣＴを活用した授業を実施し、生徒授業アンケート生徒意識における項目（平成 30 年度 3.03%）を 3.1 以上 （2） 生徒向け学校教育自己診断による進路や生き方の考える機会満足度（平成 30 年度 71.8%）を 80% （3） 生徒向け学校教育自己診断による選択科目の項目（平成 30 年度 83.3%）を 85% 学年指定のない講習等で学年を超えるなど学びを生徒に任せる仕組み作りを検討 外部模試の受験者数（平成 30 年度延べ 1609 人）を増加。 英検受験者（平成 30 年度 136 人）を増加	
2　保護者・地域から信頼される安全で安心な学校づくり	（1） 生徒の規範意識を醸成 （2） 支援体制、教育相談体制の充実 （3） 特別活動等を通じた生徒の自己有用感の醸成と、集団への帰属意識の向上 （4） 保護者及び地域との連携	（1） 教員による登校時の校門立番を継続 教員による登下校時の自転車マナー指導を継続 薬物乱用防止教室の継続実施 情報リテラシーの育成のための講演会の実施 （2） 要支援生徒について支援教育コーディネーター、担任等が連携し支援体制の充実 教育相談委員会、担任、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが連携し教育相談体制の充実 （3） 担当の分掌、顧問による働きかけの充実や強化による委員会活動、生徒会活動、部活動の充実 （4） 保護者、地域への情報発信の充実 地域の事業参加、中学校との交流	（1） 生徒向け学校教育自己診断生徒指導規則に関する項目における肯定（平成 30 年度 86.6%）を 88% 遅刻数の削減（平成 30 年度 1647 件） 自転車マナー苦情件数（平成 30 年度 11 件）を昨年度より減少 （2） 生徒向け学校教育自己診断の教育相談に関する項目における満足度（平成 30 年度 66%）を 70% （3） 生徒向け学校教育自己診断におけるクラス活動学校行事参加の肯定（平成 30 年度 78%）を 80% 部活動加入率（平成 30 年度 51.3%）を増加 （4） 保護者向け学校教育自己診断学校との相談満足度（平成 30 年度 70.9%）を 73% 中学生向け学校説明会参加者の維持（平成 30 年度 585 人）。	

府立緑風冠高等学校

３　ともに学び、ともに育つ教育の実践	（１） 共生推進教室生徒の自立支援	（１） 個別の教育支援計画に基づいた自立を支援する教育の推進 卒業後の進路実現に向けた職場実習等のキャリアガイダンスの充実 障がい者理解教育の促進	（１） 共生推進教室３年生の進路実現 共生推進教室委員会を月１回程度開催 むらの高等支援学校と生徒交流を実施 選抜出願者を募集定員以上にする	
４　学校力の向上	（１） 各組織のリーダーのマネジメント能力の向上 （２） 教師力の向上 （３） 情報発信の充実	（１） 各組織のリーダーにおける学校経営計画推進に向けたＰＤＣＡサイクルにおける取り組み （２） 教職員研修の充実 ミドルリーダーの育成 個人情報の適正な管理を推進 ＳＳＷ等の外部人材活用、校内連携の更なる促進、定時退庁日、ノークラブデー等で効率的な時間の活用をめざし、時間外勤務の縮減 （３） ホームページ等における広報の充実。	（１） 学校教育自己診断における教職員の教育活動の評価と次年度への計画に関する肯定（平成 30 年度 50%）を 55% （２） 校内研修(支援教育、人権等)充実や外部の研修を通じて教員力の向上を図る （３） 災害時等における学校の状況を迅速に保護者に周知できるようホームページを改修する。また、ホームページ・ブログを積極的に更新し学校教育自己診断における保護者の学校情報における項目の肯定（平成 30 年度 46.3%）を 50%	